

Title	大阪外国語大学論集 33 原稿寄稿要領
Author(s)	
Citation	大阪外国語大学論集. 33
Issue Date	2006-03-28
oaire:version	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/79989
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

「大阪外国語大学論集」原稿寄稿要領

1. 「大阪外国語大学論集」は、本学教員による研究結果を掲載・発表することにより、学術研究の発展に寄与するものである。
2. 寄稿者は本学教員、非常勤講師及び元教員とする。
3. 研究推進室が原稿を募集し、編集委員会は査読により、その採否を決定する。
4. 内容は未発表の①学術論文、②研究ノート、③資料（翻訳を含む）、④書評論文で、翻訳については翻訳権等の問題に接触しないものとする。
5. 原稿は 400 字詰原稿用紙にして学術論文、研究ノート及び資料 100 枚、書評論文は 30 枚以内、外国語原稿の場合は A 4 サイズ用紙にダブルスペースで 30 枚以内とする。なお、ワープロ使用の場合はフロッピーディスクを添付すること。
6. 学術論文及び研究ノートについては、日本語原稿の場合は外国語による要旨(300 語程度)を、外国語原稿には日本語による要旨(400 字程度)を付すものとする。
和文・英文以外の言語（査読者が限定されるような言語）を使用する寄稿の場合は、上記とは別に査読者用に概要（英語または日本語）を添付すること。
7. 提出原稿は完成稿とし、分載・連載は認めない。校正は字句の訂正のみにとどめ、大幅な加筆修正は認めない。
8. 初校及び再校は執筆者校正とし、編集委員会の指示に従うものとする。但し、編集委員会が必要と判断した場合は、三校を執筆者校正とする。
9. 特殊製版(図表・写真版・特殊文字等)の費用は、執筆者の負担となる場合がある。
10. 抜刷は 50 部を超えて希望する場合は執筆者の負担とする。
11. 二編以上を寄稿する場合は、優先順位をつけて提出し、その採否は編集委員会に委ねるものとする。但し、総枚数は 400 字詰原稿用紙 150 枚を超えないこと。

12. その他執筆にあたっては以下の点に留意するものとする。

＊ 氏名の外国語表記は姓、名の順とする。

(例：G A I D A I H a n a k o)

＊ 日本語原稿には外国語のタイトルを，外国語原稿には日本語のタイトルを付す。

＊ 要旨については，本文冒頭に付す。

＊ 『注』は両カッコ（例：（１），（２），（３），…を用い，本文右肩に付し後注とする。）

13. 本学では，次の国立情報学研究所が行う学術雑誌公開支援事業に，参加しますので，執筆者が保有する著作権の内「複製権（※１），公衆送信権（※２）」の行使を大学に委託願います。

学術雑誌公開支援事業

国内の大学等が発行する研究紀要の電子化，公開の支援を通じて大学等の情報発信を支援する目的を持った事業です。（<http://www.nii.ac.jp/nels/>）

（※１）複製権とは著作物を有形的に再生することに関する権利です。

研究紀要の電子化・公開の場合、冊子体を電子化することは、複製に当たります。また、電子化したデータをサーバのハードディスクへ保存することも複製に当たります。

（※２）公衆送信権とは著作物を公衆向けに「送信」することに関する権利です。

インターネットなどを通じたサーバからの「インタラクティブ送信（自動公衆送信）」の場合には、送信のためにサーバへデータをアップロードすることも含まれます（送信可能化権）。

研究紀要ポータルではインターネットを通じて不特定多数の利用者への公開を行いますので、公衆送信に当たります。